



〈年間テーマ〉

「主体的・対話的で深い学び」をめざす授業づくりと評価

学習指導要領改訂においては、「指導と評価の一体化」の必要性がより一層明確に打ち出されました。それを受け、今年は「授業改善に生きる評価のあり方について学びたい！」という要望がたくさん出され、上記のテーマとなりました。

第1回学習会

5月8日（土）10時～11時30分

オンライン開催 *申込み先は、下記欄参照

基調提案

「日々の授業に生きる評価を考える～教育評価の動向から～」

高瀬裕人先生（琉球大学教育学部教員）

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。博士（教育学）。元広島大学附属小学校教諭
読者反応理論や評価論を専門とし、教室に日常的に参加し、実践に生きる評価について研究する。

シンポジウム

（小中校種ごとに五十音順）

伊藤正紀先生（教職17年目・琉球大学附属小学校教諭）

～自身の教員としての履歴を振り返りながら、学びを豊かにする評価について語ります。

我那覇翔太先生（教職9年目・琉球大学附属小学校教諭）

～主に物語教材の授業を通して、児童のつぶやきを生かし、全体での読み合いを深める評価について語ります。

金城江利子先生（教職19年目・嘉手納町立屋良小学校・元琉球大学附属小学校教諭）

～言葉の働きへの自覚を高め、言葉を通して生活を豊かにする評価について語ります。

粟國哲郎先生（教職11年目・琉球大学附属中学校教諭）

～小中連携を見通して、評価について語ります。



（参加方法）

学習会当日は、以下のいずれかの方法でアクセスしてください。

① URL：<https://us02web.zoom.us/j/83014519564?pwd=elRZcWY0UFpUSHRqMm5FeXFJWUwzdz09>

ミーティングID：830 1451 9564 パスワード 1TtXTd

②右にあるQRコードから当日のオンライン会場にアクセスすることができます。

お問い合わせ先 rori@edu.u-ryukyu.ac.jp (村上研究室)

